

都市再生整備計画事業 事後評価シート
稲沢東部地区

平成29年3月

愛知県稲沢市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	稲沢市		地区名	稲沢東部地区(地方リノベーション事業)			面積	640ha	
交付期間	平成23年度～平成27年度		事後評価実施時期	平成28年度		交付対象事業費	5,404百万円	国費率	0.389			
1)事業の実施状況	事業名											
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(アクセス市道整備、市道整備)、公園、地域生活基盤施設(駐車場、情報板)、高質空間形成施設(照明施設、歩道整備)、地域創造支援事業(市民病院整備事業)									
		提案事業	地域創造支援事業(市民病院整備事業(用地費))									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(情報板)			地域生活基盤施設(地方都市リノベーション事業)への移行			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		提案事業	高質空間形成施設(照明施設、歩道整備)			高質空間形成施設(カラー舗装)、高質空間形成施設(地方都市リノベーション事業)への移行			影響なし			
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(地方都市リノベーション事業)			道路事業の一部を地方都市リノベーション事業へ移行			影響なし			
		提案事業	公園(地方都市リノベーション事業)			公園事業の一部を地方都市リノベーション事業へ移行			影響なし			
		基幹事業	地域生活基盤施設(地方都市リノベーション事業)(情報板、地域防災施設)			地域生活基盤施設の全部、及び、公園事業の一部を地方都市リノベーション事業へ移行			影響なし			
		提案事業	高質空間形成施設(カラー舗装)			高質空間形成施設の一部(歩道整備)を高質空間形成施設(カラー舗装)に変更			影響なし			
		基幹事業	高質空間形成施設(地方都市リノベーション事業)(カラー舗装、照明施設)			高質空間形成施設の一部を地方都市リノベーション事業に移行			影響なし			
提案事業		地方都市リノベーション推進施設(医療施設)			単独事業として関連事業への追加の後、地方都市リノベーション事業への移行に伴い、関連事業から基幹事業へ変更			影響なし				
交付期間の変更	当初	平成23年度～平成27年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
変更	-		-									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ			
	指標1	市民会館・中央図書館利用頻度	回/人・年	3.47	H20	3.51	H27	3.12	△	あり	市民会館は公益施設周辺道路整備、歩道整備、コミュニティバス運行強化等により、公益施設へのアクセシビリティ、利便性が向上したため、利用者数は年々増加している。また、図書館は近隣都市の図書館開館が要因となり、H25に利用者数が減少したため、目標値を達成することができなかった。しかしながら、直近H26からH27にかけては利用頻度において当初予定を上回る上昇率を示しており、一定の効果が見受けられる。	-
	指標2	市民病院利用頻度	回/人・年	1.32	H21	1.90	H27	1.49	△	あり	旧市民病院の著しい老朽化と、常勤医が不在となったことによる一部診療科の診療制限により、利用者が想定以上に落ち込んだ。そのため、計画期間内に目標を達成するには至らなかった。しかしながら、常勤医の確保により診療制限は解除され、新市民病院の開院により医療設備が充実し、周辺施設の整備によりアクセシビリティ、利便性の向上が図られたため、新市民病院の開院以降は利用者数が増加しており、市民病院の利用頻度は当初予定を上回る上昇率を示している。また、H28上半期においても前年度同月比で利用者数は増加を続けており、今後さらなる利用者の増加が期待される。	-
	指標3	歩行空間整備率	%	30	H22	47	H27	47	○	あり	公益施設周辺道路の歩道整備等による、国府宮駅と公益施設を結ぶ人々にやさしい移動空間の充実により、歩行空間整備率が上昇した。	-
	指標4	まちづくり組織の団体数	団体	0	H22	3	H27	1	△	あり	当初予定していた市民主体の新たなまちづくりを行う組織は1団体の発足にとどまった。しかしながら、まちづくり勉強会や新たに整備した公園で開催した植樹祭を通して、地域住民のまちづくりへの関心の向上が図られたため、公共空間を活用したまちづくり活動を行う公園愛好会等の団体数及び会員数が増加しており、一定の効果が見受けられる。	-
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ			
	その他の数値指標1	中央図書館でのイベント参加者数	人	518	H21			1,119			公益施設周辺の道路整備、歩道整備等による、公益施設へのアクセシビリティ、利便性の向上により、中央図書館でのイベント参加者数が増加した。	-
	その他の数値指標2	今後も市民病院を利用したい患者の割合	%	87.0	H22			91.6			市民病院整備及び公益施設周辺の道路整備、歩道整備による、公益施設へのアクセシビリティ、利便性の向上により、「市民病院を今後も利用したいと思う患者の割合」が増加した。	-
	その他の数値指標3	地域まちづくりへの興味・関心度	%	64.6	H22			66.0			地域住民まちづくり活動(勉強会)等の実施により、住民の地域まちづくりへの興味や関心の割合が向上した。	-
	その他の数値指標4	地域活動組織の団体数	団体	10	H22			13			地域住民のまちづくりへの関心の向上が図られたことにより、公園愛好会の団体数が増加した。	-
4)定性的な効果発現状況	公共施設周辺の歩道整備によりアクセシビリティが向上したことにより、中央図書館の利用者年齢構成比において10代の割合が1.9%から10.0%に増加している(平成25年から平成27年まで中央図書館によるアンケート調査より)											
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	事業進捗状況の確認		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も都市再生整備計画事業を実施する場合は、定期的に事業の進捗状況の管理をおこなっていく。				
	住民参加プロセス	街区公園(文化の丘公園)での植樹祭の開催		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後は、公園管理を地元住民が担うなどのまちづくり活動につなげていく。				
	持続的なまちづくり体制の構築	地域住民まちづくり活動(勉強会・ワークショップ)の実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● まちづくり活動の組織数増加に向け、今後も、勉強会を継続して実施する。				

様式2-2 地区の概要

稲沢東部地区（愛知県稲沢市）都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標 まちなかの公共公益施設の再編による拠点機能の強化を図り、これを活かした国府宮の中心市街地の拡大を推進する 目標1 公共公益施設の利便性の向上による広域市民サービス拠点の強化 目標2 国府宮駅とその周辺施設を結ぶ人に優しい移動空間の充実 目標3 中心市街地再生に向けた住民の関心、意識の向上	市民会館・中央図書館利用頻度	単位：回/人・年	3.47 H20	3.51 H27	3.12 H27
	市民病院利用頻度	単位：回/人・年	1.32 H21	1.90 H27	1.49 H27
	歩行空間整備率	単位：%	30 H22	47 H27	47 H27
	まちづくり組織の団体数	単位：団体	0 H22	3 H27	1 H27



地方都市リノベーション推進施設（医療施設）



公園（地方都市リノベーション事業）



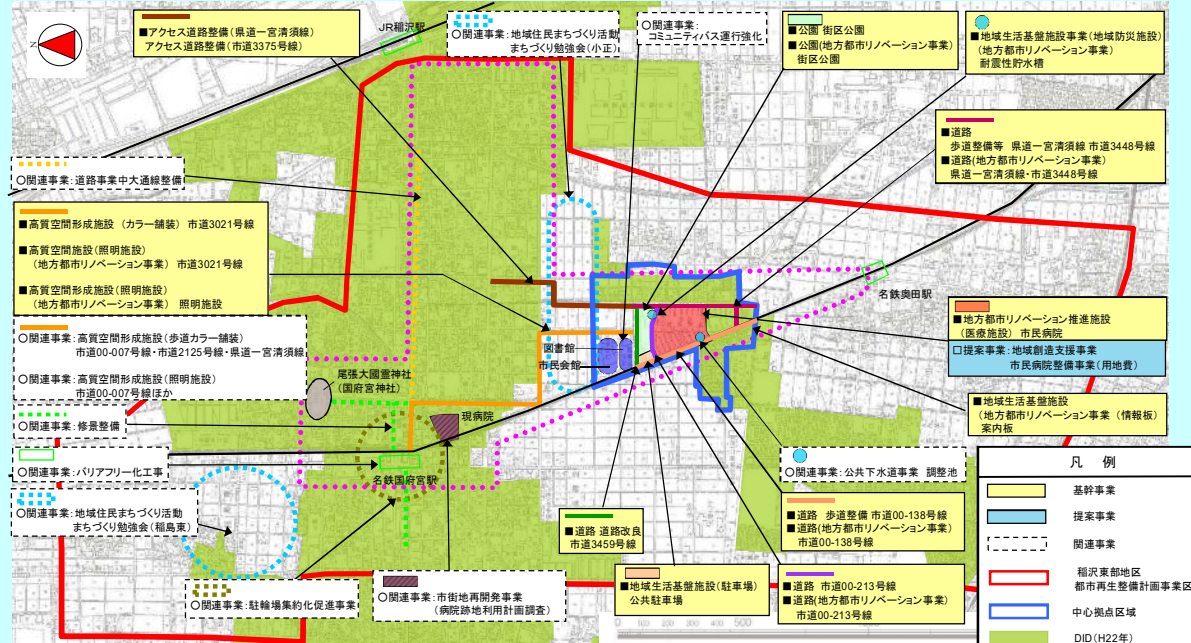
道路（地方都市リノベーション事業）
県道一宮清須線



道路（市道3459号線）



高質空間形成施設（カラー舗装）
市道3021号線



地域生活基盤施設（情報板）
（地方都市リノベーション事業）



地域生活基盤施設（地域防災施設）
（地方都市リノベーション事業）



地域住民まちづくり活動

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 施設（市民病院、市民会館、図書館）へのアクセス道路の整備及び駐車場の整備を行い、機能強化を図ることができた。 国府宮駅から施設（市民病院、市民会館、図書館）を含む中心市街地の歩道整備を行うとともに、コミュニティバスの運行強化を図ることにより、アクセス利便性の向上を図ることができた。 歩道のカラー舗装による整備に加え、情報板の設置により、中心市街地の歩行者の誘導を図ることで、中心市街地の景観整備や歩行者ネットワーク環境の充実を図ることができた。 公園内に耐震性貯留槽を設置するなど、防災公園として公園を整備することにより、地域防災機能の強化を図ることができた。また、植樹祭の開催や地域住民まちづくり活動を通じて市街地整備に向けた住民意識の醸成を図ることができた。 市のマスタープランにおいて国府宮駅周辺は「立地特性を活かした利便性の高い居住環境の創出」と位置付けられているため、国府宮駅への利便性の高い旧市民病院跡地を地元民間会社の独自案に貸すこととなった。
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	<ul style="list-style-type: none"> 市街地整備に向けた住民意識の醸成を図るため、地域住民まちづくり活動を通じて、中心市街地のまちづくり活動を継続する。 公共公益施設へのアクセス利便性の向上を図るため、市道00-138号線の歩道整備を検討する。 中心市街地及び公共公益施設周辺の更なる利便性を図るため、国府宮駅周辺及び公共施設周辺の再整備を検討する。